



筑紫讃歌&筑後川

園伊勢絵合唱作品集

合唱組曲「筑後川」のCDジャケット

「みなかみ」「ダムにて」「銀の魚」「川の祭」「河口」と全部で5曲からできている合唱組曲「筑後川」という曲があります。5つの曲名から筑後川が阿蘇に一滴の水として生まれ、そしていろいろな試練を経てダムに入れられたり滝になって落ちたり、周辺の百万の農業や生活の水として役立って、人間の生活を支えながら大河となって最後に海に出ていくという情景が連想できませんか？構成されている5曲とも大好きなのですが、その中でも私にとってかけがえのないのが最終曲の「河口」です。

私は中学校3年生の4月に山口県の学校に転校しました。転校は慣れていましたが、なかなか打ち解けることができずにいました。そのような中、9月から合唱コンクールの練習が始まりました。10月終わりの合唱コンクールで歌うのは課題曲と自由曲の2曲。そのうちの課題曲が「河口」でした。ダイナミックな前奏で、海へとたどり着く最後のときに向かう強さや大きさが感じられ、歌が始まる前にこの曲のもつ醍醐味を味わうことができます。そして、それまで積み重ねてきたことに対する満足感や達成感、自分を応援してくれているように感じるラスト。とても難しい曲でしたが、クラスのみならず一生懸命に練習しました。休み時間も放課後も休みの日も。暇さえあれば集まって練習三昧。練習は大変でしたが、たくさん声を掛け合ったことで転校生の私にとってようやくクラスの友達と繋がりをかみしめることができた時間でした。合唱コンクール本番のステージでこの曲を歌いきったとき、なぜか涙が出てきたことを覚えています。自分たちの歌声で満たされた空間に浸り、一緒にがんばったクラスのみならず同じ時間を過ごすことができたと思っただけで「幸せだ」と感じていたのではないかと今なら思えます。私たちの周りにはたくさんの「繋がり」があります。その繋がりを感じることで自分を幸せにしていくのだと思うのです。だから、誰に対しても何に対してもいつも一生懸命でありたいと思います。

笑顔あふれる太東祭第1部ダンス発表会でした

新しい太宰府東中を全校生徒の手で創り上げるんだという思いを「創力戦」というスローガンにこめ、5月16日に行うはずだった体育会。全生徒で力を合わせ頑張っていた矢先の緊急事態宣言発出によりブロック演技の中間発表会を区切りに、いったん取組が止まりました。止まっていた体育会が、9月16日に太東祭第1部ダンス発表会という形ではありましたが締めくくりを迎えることができました。生徒の皆さんの明るい笑顔や軽やかなステップが躍動感あふれるダンスとなり、太宰府東中学校全体をわくわくさせ、きらきらさせ、もっと前に進もうとする活力でいっぱいになってくれました。また、体育会でお披露目することができなかった美術部が描いてくれた絵幕を掲げることができ、ダンスのきっかけを後押ししてくれていました。まさに「創力戦」を体現していると感じました。夏休み明け直前から再びの緊急事態宣言。とても短時間の練習にも関わらず、完成度の高いダンスに仕上げ、本当によく頑張りました。生徒の皆さんのどんなに厳しい状況の中でも笑顔を絶やさず一生懸命に取り組み、そして本番で楽しそうに踊っている姿を見て心がふるえ感動しました。ダンスを完成させるという目標に向かって、人と人が繋がったからこそ味わえた幸せだとあらためて感じた一日でした。本来であれば、保護者の皆様には子どもたちの頑張りを直接見ていただきたかったのですが、緊急事態宣言中ということもありライブ配信とさせていただきます。ライブ配信にも関わらず、温かく見守り応援してくださったことに心より感謝いたします。

終曲（フィナーレ）を
こんなにはっきり予想して
川は大きくなる
終曲（フィナーレ）を
華やかにかざりながら
川は大きくなる

水底のかわいい魚たち
岸辺のおどけた虫たち
中州の可憐な小鳥たち
さよなら さよなら
河は歌う さよなら
紅の檣の葉 楠の木陰
白い工場の群よ
さよなら さよなら
河は歌う さよなら

筑後平野の百万の生活の幸を
祈りながら川は下る 有明の海へ
筑後川 筑後川
その終曲（フィナーレ）ああ

